

平成 20 年 12 月 11 日

1 2 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

所長の高橋でございます。本日、私からは 4 点申し上げます。

まずは、「災害発生の未然防止」についてです。

火災等の発生により、地域の皆さまに大変ご心配をおかけしており、心よりお詫び申し上げます

11 月 22 日に 7 号機タービン建屋内において発生した火災につきましては、11 月 26 日に柏崎市消防本部より、11 月 28 日に原子力安全・保安院より、それぞれ指導や原因と対策のとりまとめ等の指示をいただいております。また、火災や復旧作業等における負傷者の発生状況を踏まえ、12 月 2 日に新潟県より安全管理の徹底についての申し入れを受けております。

こうした中、12 月 8 日に 6 号機タービン建屋において火災が発生し、通報に時間を要したことにより、地域の皆さまに大変ご心配をおかけしたことにつきまして、重ねて心よりお詫び申し上げます。

8 日の火災に関して、国と消防より追加の指示・指導を頂戴しておりますが、当発電所といたしましては、これまでの指示や指導を真摯に受け止め、深く反省するとともに、今後、早急に原因を調査し、再発防止対策について、万全を期するよう努めてまいります。また、安全意識をより一層高めるとともに、協力企業各社も含め全員一丸となって災害発生の未然防止に努めてまいります。

2 点目は、「各号機の点検・評価の進捗状況」についてです。

当発電所では、国に提出している点検・評価計画書に基づき、設備や建物・構築物の健全性確認を順次進めており、これまでのところ安全上重要な機器について機能に影響を与えるような損傷は確認されておりません。

設備の健全性確認につきましては、6 号機と 7 号機において、現時点で実施可能な機器レベルの基本点検がほぼ終了しております。その他の号機の点検・評価計画書に基づく基本点検につきましては、1 号機と 3 号機の目視点検が 5 割から 7 割程度の進捗、5 号機が 4 割程度の進捗となっております。なお、2 号機と 4 号機の本格的な基本点検は、点検・評価計画書でお示ししているとおり、来年以降に開始する予定です。

建物・構築物の健全性確認につきましては、7 号機が点検・評価報告書を提出済みであり、6 号機については、点検・評価報告書の案を国の WG へ報告し、ご審議いただいております。その他の号機についても、準備が整い次第、点検・評価報告書を提出してまいります。

当発電所といたしましては、今後も各号機の点検について、安全を第一に、やるべきことを着実に実施するとともに、その進捗状況を皆さまにお知らせしてまいります。

3点目は、「系統機能試験の実施状況」についてです。

7号機の系統機能試験につきましては、原子炉の安全機能として重要な「止める」機能等を確認するため、燃料を装荷した後に実施する5項目の試験の評価が完了し、これまでに全23項目のうち20項目の評価を終えております。これにより、蒸気タービン関連の3項目の試験を除いて、評価が完了したこととなります。

また、6号機につきましても、12月4日から全部で26項目ある系統機能試験を開始しており、これまでに2項目の評価を完了しております。

当発電所といたしましては、今後も計画的に系統機能試験を実施し、その評価結果を国や県の委員会等に報告するとともに、定期的に進捗状況をお知らせしてまいります。

4点目は、「発電所の耐震安全性評価」についてです。

7号機の安全上重要な機能を有する耐震Sクラスの主要な設備等につきましては、12月3日に基準地震動による耐震解析を全て終了し、耐震安全性が確保されていることを確認いたしました。また、同日、その評価結果報告書を原子力安全・保安院へ提出しており、その内容をご確認いただくこととなっております。

最後になりますが、12月1日から5日にかけて、IAEAによる地震後3回目の調査が行われ、12月4日には当発電所をご視察いただきました。IAEAの調査は、国際的な情報共有により世界の原子力施設の安全性向上を図るためのものと理解しており、今後も積極的に協力していきたいと考えております。

以上

添付)

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- ・ プレス公表(運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成20年12月)

平成20年12月11日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 定検停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14~H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定検による停止!												
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定検による停止!												
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定検による停止!												
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定検による停止! ↑原子炉自動停止												
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4~H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定検による停止!												
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.5.24~	第7回 H17.12.10~H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第8回定検による停止!												
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.11.15~	第7回 H18.8.23~H19.1.11 停止期間 H18.8.23 ~ H18.12.5 (105日) (原子炉起動H18.12.2)	第8回定検による停止!												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (11月末現在)

11月	0.0%
20年度累計	0.0%
運転開始後累計	70.1%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (11月末現在)

11月	0
20年度累計	0
運転開始後累計	80,191,836

④ ドラム缶発生量(本) (H20年度第2四半期)

当期発生本数	201
貯蔵庫累積貯蔵本数	22,751
貯蔵庫保管容量	30,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H20年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,372
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 構内従業員データ(人) (12月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	828	2,744	43%
	刈羽村	94	272	4%
	その他	76	1,342	17%
	小計	998	4,358	64%
県外		123	2,833	36%
合計		1,121	7,191	—
		8,312		100%
協力企業社数(社)		822		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

⑦ 来客情報(人) (11月末現在)

	11月	年度累計
地元	962	11,513
県内	1,493	10,871
県外	4,682	27,883
国外	85	336
合計	7,222	50,603

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
12月1日~14日	ふれあい訪問
12月13日	ミュージックライブ アット カムフィー (カムフィー) 経麻郎・中林恭子ジャズライブ
12月19・20日	クリスマスケーキ作り (柏崎エネルギーホール)
12月20・21日	冬のふれあいイベント (サービスホール)
12月20日	そばうち体験教室(き・な・せ)
1月15日	次回定例所長会見予定
1月15日	フラエクササイズを体験してみよう (柏崎エネルギーホール)
1月22日	第132回名画鑑賞会 (柏崎エネルギーホール)

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成20年12月11日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	11月14日	5号機	タービン建屋西側（屋外）におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—
②	11月19日	6号機	軽油タンク周辺道路（屋外）におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—
③	11月21日	5号機	サービス建屋冷凍機室（非管理区域）における油のこぼれについて（区分Ⅲ）	<p>（事象の発生状況） 当所5号機は定期検査中ですが、平成20年11月20日午前9時30分頃、サービス建屋3階の冷凍機室（非管理区域）において、サービス建屋冷凍機（B）の点検を行っていた協力企業作業員が、当該冷凍機内の油（潤滑油）を抜いて油回収缶へ移す作業を実施した際、油抜き用ホースとホース先端のノズルとの接続部が外れたため、油が床面にこぼれました。直ちに冷凍機側のバルブを閉めて油のこぼれを止めました。床面にこぼれた油の量は約30リットルで、拭き取りによる清掃を実施しました。</p> <p>（原因） 油抜き用ホースとノズルの接続部はバンドにより締め付けていましたが、作業中に徐々に緩んで外れたものと推定しております。</p> <p>（安全性、外部への影響） こぼれた油は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） ホースの接続方法を、バンド締め付けからねじ込みに変更し、外れにくくします。また、万が一油がこぼれた際に拡散を防ぐため、油回収缶は受け皿内に設置します。</p>
④	11月27日	屋外	発電所構内（屋外）におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—
⑤	12月4日	1号機	タービン建屋（管理区域）における堆積物の確認について（区分Ⅲ）	<p>（事象の発生状況） 定期検査中の1号機において、平成20年12月3日午後3時頃、タービン建屋地下2階雑固体置場（管理区域）の床下に設置している配管トレンチにおいて、配管サポート等の点検のため現場確認を行っていた協力企業作業員が、トレンチ内に堆積物を確認しました。堆積物は復水脱塩塔の使用済みの樹脂で、堆積量は約0.82m³（縦約2m、横約10m、深さ約2～9cm）、放射エネルギーは約1.8×10⁷ベクレルでした。</p> <p>（原因） 復水脱塩塔の使用済みの樹脂を水と混ぜて使用済樹脂槽へ移送した際、移送配管の排水弁が誤って開いていたため、配管が接続された排水口から使用済みの樹脂が流出し、堆積したものと推定しております。なお、平成6年9月以降、当該樹脂を使用済樹脂槽へ移送した実績はなく、新潟県中越沖地震との関連はありません。</p> <p>（安全性、外部への影響） 堆積物は漏えいの拡大防止機能を有するトレンチ内に留まっており、本事象による外部への放射能の影響はないと考えていますが、堆積物の回収後、トレンチの状態を確認します。</p> <p>（対応状況） トレンチ内に堆積した使用済みの樹脂は、回収して使用済樹脂槽で廃棄しました。また、トレンチの状態を点検し、異常の無いことを確認しました。</p>

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成20年12月11日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
⑥	12月4日	屋外	発電所構内（屋外）におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—
⑦	12月9日	1号機	排気筒近傍（屋外）におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—